

日中友好新聞

府連通信

2026年7月号
日本中国友好協会
大阪府連合会
〒530-0012
大阪市北区
芝田2-3-19
東洋ビル本館207
TEL06-6372-8131
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail:info
@jcfaosaka.org
ホームページ
http://
jcfaosaka.org/

中国百科検定 大阪会場に11名受験

大阪会場は7月4日(土) 3時から国労大阪会館で第19回 中国百科検定が行われ、初級・3級・2級の各クラスに11名が受験されました。

全国7準会場も含めて118名が受験、終了後各会場で交流会が行なわれました。検定終了後の大阪交流会に10名の受験生が参加されました。

★中国百科検定のテ



キストをよく読んで好きな分野から学んだ。★ネットフリの中国映画を観て興味ある歴史や文化をよく学んだ。★中国には世界遺産が多く楽しく学んだ。★過去問で勉強した、正解以外の選択肢についても調べてみることでとても勉強になった。などの発言が受験生からありました。

関西平和美術展 平和の壁に花一輪を

6月9日(火)から14日(日) 大阪市立美術館天王寺ギャラリーで、第74回関西平和美術展が開催され、特別展示は広島の高校生が描いた「原爆の絵」が飾られていました。きりえコーナーに前田尋さんの「湖東政所の秋」と薬谷礼子さんの「カルタあそび」が展示されていました。



女性部学習会 短編小説で読む中国女性作家

中国女性作家

1919年 謝冰心

『二つの家庭』

1925年 凌叔華

『刺繍の枕』

五・四運動から広がった新文化運動期の時期に女性作家が登場します。

若々しい時期の2作品を読みましよう。

第1回 7月19日(日)

1時半から

府連事務所205号室

中国帰国者支援 第5次国会請願

「中国帰国者2世の生活支援等を求める請願署名」の第5次国会請願(6月30日)には大阪からは4年連続で代表が参加しました。

署名は76658筆まで到達しました。10万筆の目標達成に向けて引き続き取り組みます。7月には厚生労働省交渉が予定されています。(石井 勉)

日中をつなぐ 文化のつどい

11月3日(祝)エル・おおさか南館5階ホールで中日をつなぐ文化のつどいが開催されます。実行委員会への参加と企画をお寄せください。つどい第1回実行委員会準備会は7月22日(水)に予定しています。舞台での発表や展示作品をお寄せください。

城北支部 映画「しではら」を鑑賞

6月11日、日中友好協会城北支部は久しぶりに7人で映画会を行いました。今の情勢にピッタリの題は「しではら」。大阪府門真の豪農の家に生まれた幣原喜重郎は外交官として2度にわたる世界大戦の悲慘さを目の当たりにしました。憲法制定時の首相であった幣原はGHQ(連合国軍最高司令官総司令部)のマッカーサー最高司令官と会談し平和主義の重要性、戦争放棄を主張し、憲法草案に反映することをGHQ側から提案して欲しい、幣原が提案するとつぶされるとマッカーサーを説得し憲法9条を含む現憲法へと結実しました。



戦後81年間、9条のおかげで何とか日本が戦争に直接参戦することは免れてきました。今、国会では9条を変えたい勢力が大きくなっていますが、国民総勢で反対の意思を示すことが幣原喜重郎への恩に報いることになるのではないのでしょうか。(森脇 篤子)

王希奇「一九四六」大阪展開催

今、日本の戦後1946年に始まった満洲・中国からの日本人引き揚げ現場を描いた油絵作品が空前のブームを呼び起こしています。第1回の東京展から第9回の福岡展へと連なり、第5回神戸展には大阪から行かれた方もいらつしやるでしょう。中国の画家王希奇画伯が平和への歴史と希望を胸に渾身の腕を奮った作品は横20m、縦3mの巨大作品。鑑賞にかけつけた引き揚げ経験者は「この子は私だ」とその場から動かなかったといひます。

日中友好を願う 紫金草コンサート

紫金草合唱団はこの秋、コンサートを開催します。紫金草合唱団は全国各地にあり、日本と中国の平和を願って歌いつなぎ、2000年からは13回にわたり、中国を訪問し、合唱交流をしてきました。

中国との戦争でその侵略の実態や痛切な反省と平和への思いを込めて合唱組曲「紫金草物語」

9月13日(日) 1時半 守口市エナジーホール 1500円 府連事務所まで

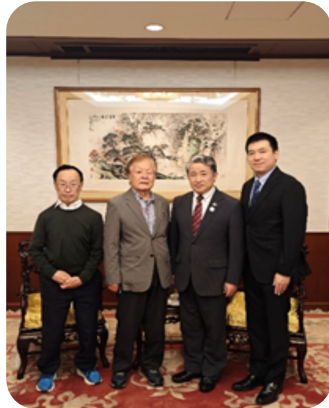
堺支部 駐大阪総領事館を訪問

日中友好日本庭園を紹介

6月25日、阿波座の中華人民共和國駐大阪総領事館を訪問しました。目的は、堺支部の日中友好・秋の歴史散策「遣唐（けんど）のひばり碑」&大仙公園の「日中友好日本庭園」を訪ねる」の案内です。

堺市の日本庭園を作庭した西根金作さんの日中友好への想いなど懇談しました。総領事は「現在、9割の日本人が中国に悪印象を持つ」という状況下で、相互の訪問・交流の大切さを語りました。特に「中国へ旅行することで現代中国の実際を知って貰える。これが日中友好交流を進める大切なことです」と話されました。

退職した方々が上海の旅を楽しんでいることなども話題になりました。



西支部 きりえで創る うちわ講習会

「日本三大団扇に京うちわ、丸亀うちわ、房州うちわがあると初めて知りました。

扇風機が出現してからは押さえていて段々と少なくなっていると感じていましたが、生産地も減ってきていると聞きしました。きりえ参加初めてでしたが、作成のことから話が聞けるとは思っていました。

昨年の方博中国館で素晴らしい実演を見て以来、興味深かつ



(M)

陳式太極拳 東京の

渡部さんから学ぶ

2020年8月から始まった陳式太極拳講習会は6月14日で75回を迎えました。講師に東京から渡部さんを迎え24名が指導をうけました。

陳式を他の先生から学ぶのは初めてで、緊張しましたが分かりやすい指導で大変刺激になりました。もつと丁寧な演じられるようになりたいと思いました。

(A)



東海で太極拳講習会

3種目を練習

太極拳東海ブロック講習会は6府県から40数名が参加、講師紹介と参加者紹介のあと、準備運動と簡化24式を演習して始まりました。

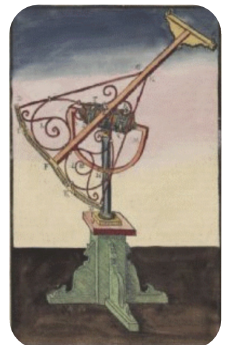
内容は50周年をめざして棍術、風華太極拳、13勢刀の3種目、初めて学ぶことも多く疲れましたが、何とかそろえて演習できたように思います。秋の50周年の演習を目標に頑張ります。楽しみです。

(B)



中国の星物語 10回シリーズ

第3回 天文官は命がけ



「たい」と詔を出しました（『史記』孝文本紀）。漢は高祖（劉邦）亡き後、皇后の呂一族の専横が始まりました（呂后の人脈の話は有名です）。呂后亡き後皇帝になった文帝は自ら儉約に努め、農業政策を講じたり、残酷な刑罰を禁じたりして、仁政を行なったとされます。文帝の治世によって、人々の暮らしは落ち着き、漢王朝は安定期に入りました。そういう治世の象徴として日食の話が記録したのでしよう（文帝とその子の景帝の時代は「文景の治」と呼ばれます）。日食が皇帝に関する天からの警告であるのに対して、月食は皇后や臣下に不吉な事が起こるときに現象とされました。写真は北京古観象台の紀限儀（きげんぎ）（高田 佳音子）

今は日食や月食の予報ができませんが、昔の人々は突然の出来事に驚き恐れしました。4千年前の夏の時代、暦や天体観測を司る官職にあった義氏（ぎし）と和氏（かし）は日食の予報がでなかつたために処刑されます。『史記』夏本紀に「帝仲康の時、義氏と和氏が酒に溺れて酔っ払い、天文予報の仕事をおぼたつたので、帝は胤（いん）氏に命じてこれを征伐させた」とあります。世の中を混乱させた罪で首をはねられたのです。

天文現象は天が支配者にその意思を示したもので、政治の良し悪しが現れると考えられていました。突然の日食は皇帝の失政に対する天からの警告であり、非常に不吉なことなのです。日食が起こると皇帝自ら公文書を出し、自分の誤りを認めることがあります。漢の第5代皇帝、文帝の治世に日食が起こりましたが、文帝は「天下治乱の責任は朕一人にある。みなは朕の過失を考え、朕の知見の及ばないところを朕に告げてもらい

南信州・東濃の旅 黒川乙女の碑へ

北東アジア平和友好の旅国内であり平和の大切さを改めて知プレ企画として、5月31日から6月1日南信州・東濃の旅に13念館見学し、翌日は飯田市平和名で出かけました。最初に寄ったのは黒川乙女の碑です。



1945年敗戦時満州州において開拓団の混乱の中ソ連兵からてあります。しかし紆余曲折がの暴行等に悩み、解決策としてあつたようで祈念館考える会の性接待を行い黒川開拓団の生命方々のお話しもお聞きしました。等守った事が70年余伏せられてきました。最後にリニア関連の現場を観てきました、残土問題等大きな課題があると直視しました。辺野古は何となく知られていました、それを碑文等に追加するがリニア新幹線については知となれ山となれならなければたと説明を受けました。侵略がなければ無かつたことを行っているが果たして完成す

(平松 悦雄)